

小学生のぼうさい探検隊  
マップコンクール

入選作品集



「ぼうさい探検隊」とは...

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全の施設・設備を発見してマップにまとめる活動のことで、発表を通してまちの安全・安心を振り返ります。子どもたちの「防災意識が高まる」だけでなく、まさに地域ぐるみの防災“ 共有 ”が着実に深まり、コミュニティーの強化にもつながります。



まち歩き

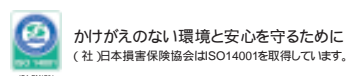


マップづくり



発表

社団法人 日本損害保険協会  
〒101-8335  
東京都千代田区神田淡路町2-9  
URL <http://www.sonpo.or.jp/>  
(お問い合わせ先) 生活サービス部  
TEL:03-3255-1294  
FAX:03-3255-1236



社団法人 日本損害保険協会 会員会社

あいおい損保	セコム損害保険	ニッセイ同和損保
朝日火災	セゾン自動車火災	日本興亜損保
アドリック損保	ソニー損保	日本地震
アニコム損保	損保ジャパン	日立キャピタル損保
エイチ・エス損保	そんぼ24	富士火災
SBI損保	大同火災	三井住友海上
共栄火災	東京海上日動	三井ダイレクト
ジェイアイ	トーア再保険	明治安田損保
スミセイ損保	日新火災	

2009年2月現在 (会員会社26社50音順)



## ごあいさつ

私ども日本損害保険協会をはじめ「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」主催4団体は、2004年度から実践的防災教育プログラムである「ぼうさい探検隊」活動の普及を図るためこのコンクールを実施し、今年度で5回目を迎えました。

今回は、46の都道府県から応募をいただき、確実に全国でこの取り組みが広がっています。また、作品も回を重ねるごとにとても素晴らしい作品が多くなり、しっかりと「まちなか」を探検した様子がよく分かるマップが大変増えてきたと感じています。

阪神・淡路大震災から本年で14周年を迎えました。この「ぼうさい探検隊」プログラムは、阪神・淡路大震災を契機として、次世代の子どもたちに防災意識を受け継ぐ目的で始められたものです。しかし、震災後14周年ということで、震災の経験をしていない小・中学生の時代となり、震災の恐ろしさを語り継ぐことも形骸化することが危惧されています。今こそ、この「ぼうさい探検隊」の活動を通し、子どもたちが実体験の中で「防災」と「くらしの安全」を学んでいくことが重要になってきています。

さて、2008年3月に、小学校の学習指導要領が改定され「防災教育」が取り入れられました。この「ぼうさい探検隊」のプログラムは、文部科学省が教諭向けに作成、配布している参考教材の中で、活動の一例として紹介されています。「ぼうさい探検隊」が防災教育の中でも、重要な活動と位置づけられているものと自負しているところです。

この入選作品集は、文部科学大臣賞をはじめ入賞された7作品と審査員特別賞を受賞された8作品をご紹介します。「子どもたちの気づき」や「安全な地域」になって欲しいといった願いを多くの方に知っていただきたく作成いたしました。

マップを作り、コンクールに応募するだけでなく、すべての応募作品をもう一度使って、あらためて地域を再発見し、そしてこの「ぼうさい探検隊」をきっかけに子どもと大人が一緒になって、「防災を学び、そして共に育っていく」まさに楽しみながら地域ぐるみの「防災共育」が着実に根つき、広がることを祈念いたします。

最後に、この活動にご賛同いただき、惜しみないご協力を賜りました政府機関、関係団体の皆様方、そしてマップコンクールにご参加をいただいた方すべての皆様にあらためてお礼を申し上げます。

2009年2月  
社団法人 日本損害保険協会  
専務理事 **半田 勝男**

### 主催

社団法人 日本損害保険協会 / 朝日新聞社 / ユネスコ  
特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

### 後援

内閣府 / 総務省消防庁 / 文部科学省 / 警察庁  
全国都道府県教育委員会連合会 / アジア防災センター  
社団法人 日本ユネスコ協会連盟 / 日本ユネスコ国内委員会

## 目次

# Contents

第5回

小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

フォーラム.....2~3p

本審査会.....4p

懇親会.....5p

入選作品.....6~23p

応募数.....24~25p





# フォーラム

## 表彰式

2009年1月24日(土)に、東京の国際ファッションセンタービルにおいて第5回「ぼうさい探検隊フォーラム」が開催され、あわせてマップコンクール表彰式が行われました。



プレゼンター、入賞の児童、指導された担当者の方々と一緒に記念撮影



文部科学大臣賞を受賞した「神根レンジャーバスターズ」の國重さん



防災担当大臣賞を受賞した「ふけ町ふるさとクラブ夜回り隊2008」の小栗さん



ぼうさい探検隊賞を受賞した「S.B.&さの・ぼうさい・エイト班」の峯原さん



壇上に勢ぞろいした受賞者とプレゼンター



インタビューに答える消防庁長官賞を受賞した「安楽島キッズ探検隊」の中村さん



まちのぼうさいキッズ賞を受賞した「さわやかマップ隊」の赤松さん



入賞作品と共に記念撮影する未来へのまちづくり賞受賞の「もみじっ子防災探検隊」のみなさんと応援団の方々



プレゼンターと一緒に、わがまち再発見賞受賞の「光の園安全隊」のみなさん



会場内は満席



他の受賞作品を熱心に見てまわるみなさん

## 講演



基調講演を行う文部科学省安全教育調査官 長岡佳孝氏



ぼうさい探検隊実践レポートに登壇した千代田区立麹町小学校のみなさん



# 本審査会

全国の小学校や子ども会など241校・団体から、1235作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選15作品を決定しました。

## 全体的な傾向

- ・小学校と地域団体(ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会、少年消防クラブなど)の応募比率は、小学校が143校で59%、地域団体が98団体で41%でした。
- ・自然災害をテーマとした作品は、実際に災害を想定した作品作りができていくものが見られました。
- ・防犯・交通安全をテーマとした作品では、せまいエリアに絞り込んで調べあげた作品の中に内容の充実したものが多々ありました。

## 地域性

- ・全国46都道府県から幅広くご応募いただきました。(前回41都道府県)
- ・県別の応募団体数では東京都が30校・団体がトップ、次いで愛知県が19校・団体となっています。

## 学年別

- ・小学校からの応募では4年生がもっとも多く、5年生と6年生がそれに続きます。1・2年生の応募は全体の10%でした。
- ・団体からの応募の場合は、1年生～6年生までが一緒にまちなか探検を実施して作成したものが多く見受けられました。



## 本審査委員

むろさき よしてる  
室崎 益輝氏(審査員長)  
関西学院大学 総合政策学部 教授

こばやし ようすけ  
小林 洋介氏  
文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課 課長補佐

たじり なおと  
田尻 直人氏  
内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害予防担当)

いいじま よしお  
飯島 義雄氏  
総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課長

しみず のりひこ  
清水 宣彦氏  
文部科学省 国際統括官付国際統括官補佐

あつみ ともしで  
渥美 公秀氏  
大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター 准教授

からたに ゆか  
柄谷 友香氏  
名城大学 都市情報学部 准教授

もろずみ こういち  
両角 晃一氏  
朝日新聞社 広報担当兼コーポレート・コミュニケーション本部長

しかま たかし  
志鎌 敬  
社団法人 日本損害保険協会 常務理事

## 審査総評



むろ さき よしてる  
審査員長 室崎 益輝氏  
関西学院大学 総合政策学部 教授

### 身近なテーマを大切に

毎回、審査をしてうれしく思うのですが、年々、マップのレベルが上がってきています。応募数は少し減りましたが、内容はそれを補って余りあるものがあり、どの作品も子どもたちの細やかな気づきにあふれ、密度の高い作品に仕上がっています。

今回の審査で特に感じたのは、テーマの選び方がとても良くなっていることでした。「安楽島キッズ探検隊」のマップでは、本当に消火栓からホースが伸びてどこまで水が出るのだろうか、子どもなりに感じた疑問を確かめることにテーマを絞っています。「S.B.α さのぼうさい・エイト 班」では、急傾斜地が多いまちの特徴から土砂災害をテーマにしています。他にもお年寄りの避難の問題など、ポイントを絞った作品が入選しています。

### 子どもたちの願いや提言の豊かさ

マップづくりで大切なビジュアル性ですが、色づかいや写真・イラストで見やすくするだけでなく、伝えたい気持ちを表現する作品が印象に残ります。「神根レンジャーバスターズ」は、マムシやイノシシのイラストと写真を使い、地域の景色と自分の気持ちを重ね合わせており、見ていて楽しい作品に仕上がりました。また、「もみじっ子防災探検隊」の質問列車には、列車が理想の社会へ走って行くようにという願いが感じられました。

審査では提案性にも注目します。大人や地域に対し「こうしてほしい」という提案も必要ですが「私たちがこうします」という提言もより大切です。今回入選した15作品中5作品は、このような自主的な提言を考えていました。提言のしっかりしたマップからは、子どもたちが自ら地域をくまなく歩き、丹念に調べ、多くの人にアンケートをするなどの地道な努力がにじみ出ており、心を動かされます。

### 学び合いの場になるマップづくり

審査を通じて指導の先生方の感想も読ませて頂いていますが、このコンクールが、先生と子どもの学び合いの場になっていると強く感じました。また、子ども同士の学び合いが表れている作品もあります。「神根レンジャーバスターズ」では、9人の子どもが各自1つずつ、全部で9つの提案を書いており、全員が力を合わせていることが伝わってくる作品でした。

今回は前回を上回る46の都道府県から応募がありました。全国で1000枚を超えるマップの応募があり、これには1万人に近い子どもたちが参加しています。この取り組みを通じ、これだけ多くの子どもたちが地域に関心を持ち、たくさんの人たちと出会い、防災・防犯・交通安全の知識を学んでいるのはすばらしいことです。今後も、日本中のあちこちで「ぼうさい探検隊」活動の芽が膨らむことを期待します。

## 懇親会

表彰式のあとは、第一ホテル両国・北斎にて、入賞校・団体の代表児童、保護者、指導された担当者を交えた懇親会が開催されました。



表彰式が終わり関係者が勢ぞろいしました



ちょっと緊張しながら自己紹介をしました



児童たちに喜びの声を聞きました



指導された担当者に受賞の感想をうかがいました



作品のポイントをうかがいました



なごやかな雰囲気の中で食事を楽しみました





# 文部科学大臣賞

岡山県備前市立神根小学校

【神根レンジャーバスターズ】 3・4年生 9名

テーマ 防災・防犯・交通安全



**選考基準** 防災教育に対する学習意欲が感じられ、かつ仲間との協調性が感じられる作品

評価されたところ

都会では見られない危険であるシカ、イノシシ、マムシがマップに登場するなど、地域性がよく出ており、まちの雰囲気がよく伝わってくる。また、こうした地域性を踏まえて地域にあるすべての避難所の写真をマップに載せるなど、マップを見る人への思いやりや、提言やスローガンもよく考えられていることなどから、防災に対する学習意欲が高く感じられたことが評価されました。



病院の方からお話を聞きました



「神根レンジャーバスターズ」のみなさん

## 工夫点

- 危険な所(赤)、防災施設(緑)、防犯施設(青)、交通安全施設(黄)というように色分けした。
- 写真とは別にイラストを使って分かりやすくした。(車、がけ崩れ、イノシシ、マムシなど)

## 提言

- 神根は自然が多くて安全な所だと思っていたが、調べてみると危険な所も多いので気をつける。
- がけや深い川、電気柵などに気をつけるよう呼びかけたり、マムシやヤマカガシが出そうな場所は、草刈りをして「マムシ注意」の看板を立てる。
- 地震対応の自動販売機(災害時、無料で飲料水が出る)を増やす。

## 子どもたちの感想

- この防災・防犯安全マップを作って、あらためてどこが危ないのか、ひなん所はどこにあるのか、どこが安全かなど、いろいろなことがわかった。

## 担当者の感想

- 大都会のように人口や交通量が多い所とは正反対の地方でも危険な場所がたくさんあることに気づいてもらいたいので、このマップ作りに取り組んだ。探検し、インタビューし、危険な所を見つける目がだんだんと育ってきた。完成したマップを全校の前で披露した時のうれしそうな表情が印象的であった。

## 入選を聞いて VOICE



びっくりして夢かと思いました。大変だったけれど、みんなで作ってよかったです。マップでみんなに神根の危ない所を知ってもらってうれしかったです。チーム名やスローガンなど工夫して作りました。  
(岡田 穂純さん)



素晴らしい賞をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。自然がいっぱいの場所に神根地区はあります。「神根は本当に安全な所か?」と問いかけて探検を始め、地域のみなさんの協力もあり作り上げることができました。  
(松本 粹先生)







# 防災担当大臣賞

滋賀県守山市ふけ町ふるさとクラブ

【ふけ町ふるさとクラブ夜回り隊2008】 6年生 6名

テーマ 防災



まちなかの防火水槽を見てまわりました



「ふけ町ふるさとクラブ夜回り隊2008」のみなさん



**選考基準** 地域の防災意識向上につながる作品、地域住民の防災対策に役立つ作品

**評価されたところ**

高齢化社会が進む中で課題となっている地域のひとり暮らしの老人の防災対策にポイントをしぼっていること、また、ひとり暮らしの老人に目を向けなければいけないことが、地域の住民に伝わるマップとなっているとともに、自分たちができることを宣言文としてまとめているなど、地域住民の防災対策に役立つ作品であることが高く評価されました。

## 工夫点

- ・地図をわかりやすくシンプルにし、文字を見やすいように大きさを考えた。
- ・透明フィルムに第一次避難場所を書き、2枚目の透明フィルムには一人暮らしの老人の人数を書いてわかりやすくした。

## 提言

- ・自治会館で配っている「自主防災計画」をもっと読み、日頃から防災について勉強し、さらに防災意識を高める。
- ・一人で暮らしている老人の人数が多いことを知ってもらいたい。

## 子どもたちの感想

- ・自治会の防災担当の方にお話を聞いた時、地震や火災がおきた時の準備がたくさんありすごいと思いつても安心した。
- ・友だちと協力してマップを作れて楽しかった。
- ・民生委員の仕事がよくわかり大変さもわかった。大きくなったら民生委員になりたい。

## 担当者の感想

- ・6人の多感な子どもたちがお互いの気持ちを尊重しながら、1枚のマップを作り上げたことが、社会性を養う経験となった。なにより大切なことは、「地域の人(大人)と顔見知りになる」「こちらから地域の中に溶け込んでいく」ことだと感じた。

## 入選を聞いて VOICE



みんなで一生けん命作ったマップが入賞してとてもうれしいです。このマップで、地域の避難場所、防火水槽、防災設備のことがよくわかりました。このマップを見てもらい、町内の人たちに役立つように広めていきたいです。  
(小栗 はるかさん)



今回の入賞を子どもたちと共に大変うれしく思っています。地域の方にいろいろ教えていただき、マップ作りは子どもたちにとって地域の方々とふれあう貴重な経験になりました。協力してくださった皆さんへ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。  
(長谷川 恭子さん)







# 消防庁長官賞

三重県鳥羽市安楽島子ども会

【安楽島キッズ探検隊】 6年生 5名

テーマ 防災



**選考基準** 消防の施設、設備がしっかり調べられ、災害発生時の被害軽減に役立つ作品

**評価されたところ**

消火栓や消防車からの放水が届く範囲を調べるという視点がユニークでした。水源、ホースの数、放水の勢い、距離などを分析し、届かない地域もあることが色分けされており、一目で自分の住んでいるところの危険がわかりやすく、日頃から各家庭で防火・防災の準備の大切さを訴えるようにまとめていることが高く評価されました。



消防団の方と消火栓とホースを点検しました



「安楽島キッズ探検隊」のみなさん

## 工夫点

- ・放水の有効範囲(半径20m)を赤色点線でわかりやすくした。
- ・「放水確認シート」を作り、どの地点からでも確認できるようにした。
- ・消防車が通れない道をピンク色にして一目で分かるようにした。

## 提言

- ・消火栓からの放水が十分に届かない所のホース格納庫にはもう一本ホースを追加する。また格納庫の裏に一番近くの格納庫の地図を貼る。
- ・消防車が通れない道は通れるようにしてほしい。たとえ通れる道でも自動車が駐車していたら通れないので気をつけてほしい。

## 子どもたちの感想

- ・消防団の方といっしょに探検して、あらためて火事には気をつけようと思った。
- ・15ヶ所の消火栓とホース格納庫を点検したが、全箇所にホースと器具がそろっているのが安心した。

## 担当者の感想

- ・消防団の方々に協力していただき「地元で火事がおきたら大丈夫か？」をテーマにまちを探検した。今回の探検でわかったことは消防団の方と共有して、地元の防災活動に役立てたいと思う。

## 入選を聞いて VOICE



みんなで作った「ぼうさいマップ」が入賞してすごうれしいです。ホースと同じ長さのロープを持って、みんなで協力して調べました。このマップを地元の人たちに見てもらって、町の防災の役に立てればと思います。  
(中村 佳也さん)



地元の消防団の協力を得て、町の防火について調べました。放水ホースに見立てたロープを手に、子どもたちは町中を走り回って調べました。道行く人との交流もあり、貴重な体験ができたと思います。連続受賞の喜びと共に、続けていくことの意義をかみしめています。ありがとうございます。  
(浜口 敬司さん)





# 賞 まちのぼうさいキッズ賞

(ユネスコ提供)

とみ だ  
徳島県徳島市立富田小学校  
【さわやかマップ隊】

5年生 14名

テーマ 防災



**選考基準** 地域の情報を細かく取材し、子どもたちによる独自の提案が見られる作品

**評価されたところ** 南海地震の危険と備えをテーマにしており、ひとつひとつの表現を工夫しながらよくまとめるとともに、外国人が多く暮らす地域であることから、英文を入れて注意喚起をするなど地域の特性を詳細に取材して、マップに表現したことが高く評価されました。



みんなで協力しながらマップを作っています



「さわやかマップ隊」のみなさん

### 工夫点

- ・校区には外国人も多くいると思い簡単な英語を入れた。
- ・危ない場所(赤)と安全な場所(緑)に色分けしたり、高さを出すために少しだけ立体的なビルを作った。
- ・誰もが親しみやすいように、マップができるまでを4コママンガにした。

### 提言

- ・富田のまちは決して安全ではないので、今から災害時のために非常用具や非常食を備えていざという時に一人でも多くの人助かるようにしてもらいたい。
- ・避難場所や安全な場所を、町の人にあらかじめ知っておいてほしい。

### 子どもたちの感想

- ・このマップ作りを通して身の回りの危険な場所がわかってよかった。災害時には速やかに避難したい。
- ・この勉強をしたことで家の人と避難場所を話し合えた。本当に地震がきた時、家族全員が避難できたらいいと思う。

### 担当者の感想

- ・消防署や災害について研究している徳島大学の大学院生から地震を想定したシミュレーションを見せてもらい、古い家やビルの高さなどの専門知識も教えていただいた。防災は子どもたちだけで考え活動するのではなく、地域をあげてすることにこそ価値があり、必要だということを一一人の児童が学べた。

## 入選を聞いて VOICE



私たちの作った「さわやかマップ隊」のマップが全国入賞したと先生から聞かされクラスの人達は飛び上がって喜びました。調べ学習やまとめ学習をしていくうちに災害や地震から自分の命や地域を守るぞという気持ちになりました。マップ作りを通して私たちの心はつながったと思います。入賞はすごくうれしいです。  
(赤松 優里佳さん)



地域や様々な方と共に防災意識を高め、命を守るためのマップ作りを目標に子どもたちといろんな場合を想定しながらマップを仕上げていきました。この度素晴らしい賞をいただき、子どもたちの思いが伝わり評価していただいたことに感謝します。今後も防災意識を持ち、日々の生活を子どもと一緒に豊かに過ごしたいと思います。  
(今枝 美津子先生)





# 賞 未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

ガールスカウト日本連盟長野県第34団  
【もみじっ子防災探検隊】 6年生 2名

テーマ 防災



**選考基準** 地域の特徴や防災に関する情報が第三者にもわかりやすく表現されている作品

**評価されたところ**

ビジュアル性が特に目を引き、環境という視点から防災にアプローチしている視点がユニークであること。また、川を汚さない、木を切りすぎないなどの環境管理が、災害時の被害軽減に役立つことを学んでおり、地域の防災に関する情報が第三者にもわかりやすく表現されていることが高く評価されました。



水路に沿って歩きました



「もみじっ子防災探検隊」のみなさん

### 工夫点

- ・もみじっ子防災探検隊なので「もみじ」を折り紙で作って強調した。
- ・飯田線をイメージして、自分たちで作ったクイズを「走る質問電車」にした。
- ・全体として前回作成したマップよりもはっきりとした色使いにし、タイトルを目立つようにした。

### 提言

- ・水路周辺の整備をしてほしい。町の中央を流れるこの水路の周辺には小鳥のさえずりも聞こえる。身近にこのようなすばらしい場所があることを知ってほしい。

### 子どもたちの感想

- ・町中の身近な所にこのような水路があることを初めて知った。この「新井」は私たちの先祖が残してくれた文化的遺産の一つである。これからはゴミを捨てることのないよう町民に呼びかけて水路の役割を後世に伝えたい。

### 担当者の感想

- ・マップ作りのおかげで「新井」について興味を持ち、調べ、理解し、地域の人々と触れあいながら学習ができた。また一つ財産が増えたかのように心から嬉しく思う。これからもよりよい町づくりのため防災に関して気づいたことを町へ提言していきたい。

## 入選を聞いて VOICE



わたしたちガールスカウト ジュニア部門は昨年につづき賞をとることができ、とてもうれしいです。マップには町のシンボルの「もみじちゃん」や「電車」を走らせました。私たちの作ったマップが未来の箕輪町にいかせればいいと思います。  
(吉沢 楓さん)



自分たちの住む町の防災状況を確認すると共に、近い将来「こうなったらいいな」と夢をいだきながらマップ作りに取り組んでいた二人の姿はすばらしいものでした。受賞の知らせは二人への最大のプレゼントになりました。ありがとうございました。  
(上野 良子さん)







# わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

ひかり その  
大分県別府市光の園子どもクラブ  
ひかり その  
【光の園安全隊】 5年生 3名

テーマ 防犯・交通安全



**選考基準** 地域の災害の特性を理解し、地域への関心や愛着が感じられる作品

評価されたところ

下級生にも知ってもらうために、地域にある「110番の家」をチェックするなど防犯に特化したマップであり、まちの人に取材している場面や、調べている場面の写真があり、活動の様子が伝わってくることなど、地域への関心や愛着が読み取れるマップを作成したことが高く評価されました。



子ども110番の家の方にお話を聞きました



「光の園安全隊」のみなさん

### 工夫点

- ・タイトルを信号の色にし、文字色を危険は赤、安全は緑にした。
- ・ふきだしを利用しわかりやすくした。
- ・ふりがなをつけ、語尾を語りかけるような文体にし、年下の子どもにもわかりやすいようにした。

### 提言

- ・信号のない横断歩道に横断用の旗が信号があったらよい。
- ・通学路以外に近道として通る場所や、小学校から学童クラブまでの道のりにも不審者や交通事故に気をつける。

### 子どもたちの感想

- ・探検やマップづくりを通してあぶない場所がよく分かったのでとても良かった。
- ・いつも通っている道にたくさんの危険があることを初めて知った。

### 担当者の感想

- ・3人という少人数であったが、チームワーク良くマップを完成させた。年下の子どもたちに伝えようという気持ちもあり、危険な場所をよく見つけ、どのようにしたらよいかと自分たちでよく考えていた。

### 入選を聞いて VOICE



ギリギリにできあがったけれど、なっとくのいく作品ができました。みんなに発表した時はドキドキしたけれど、つたえたいことが言えたので良かったです。そして賞までもらったのでとてもうれしいです。  
(中島 弥子さん)



入賞の報を受け、信じられませんでした。3人が協力しがんばった結果だと嬉しく思います。指導員だけでなく保護者の温かい協力もあり、高学年らしい優しさにあふれた作品になりました。本当にありがとうございました。  
(工藤 晃子さん)







# ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

徳島県三好市立佐野小学校

【S.B.8(さの・ぼうさい・エイト)班】 5・6年生 8名

テーマ 防災



神社の裏の土砂災害の危険がある場所を調べました



「さの・ぼうさい・エイト班」のみなさん

### 工夫点

- ・急傾斜地の範囲を表示した。
- ・県関係機関の協力を得て、急傾斜地、砂防ダムについてのインタビューを載せた。
- ・タイトルを印象的な図にし、一人一人の感想を工夫した。

### 提言

- ・防災についてもっと知ってほしい。防災無線、ケーブルテレビなど災害情報には常に注意して聞く。
- ・非常持ち出し品を日頃から準備し、家庭でも防災マニュアルを作っておく。

### 子どもたちの感想

- ・行ったことのない山の中や見たことのない砂防ダムを見ることができた。
- ・危険を表示する看板や標柱の意味を知ることができた。
- ・急傾斜地の測定の仕方や土砂による自然ダムについて知ることができた。

### 担当者の感想

- ・ぼうさい探検隊活動の前に、地震・大雨による地すべり、土砂災害の仕組みや避難について学習を進めていたが、今回マップ作りに取り組んで、自分たちが調べてきた防災の知識がより確かなものになった。

### 入選を聞いて VOICE



たくさんの応募の中から受賞したことを聞いてとてもびっくりしました。防災マップ作りでは使う写真を選んだりコメントを考えるのは大変だったけれどクラスのみんなで力を合わせたからよい作品ができたと思います。  
(峯原 恵さん)



防災学習に取り組む中で、学習のゴールとして防災マップ作りを考えていた折りにこの募集があり、充実した活動になりました。それだけでも十分でしたが、今回の受賞は児童にとってのいい思い出と自信につながりました。  
(岩佐 辰也先生)



**選考基準** 地域や人々とのつながりおよび安全・安心への意識の高まりが感じられる作品

**評価されたところ**

急傾斜地が多いというまちの特徴から、土砂災害をテーマにして、自分たちの周りにどんな危険があるかを探検隊活動を通じて学んでいること。また、マップからも幅広く取材していることがうかがえ、地域と密にかかわり、大人も巻き込んで探検隊を実施するなど、地域の安全・安心への意識の高まりを見受けられたことが高く評価されました。





# 審査員特別賞

おき だて      み よし  
青森県青森市立沖館小学校【三好のみんなを守り隊】 4年生 8名



「賞に入ったよ」と聞いてびっくりしました。努力して作ってよかったと思います。自分だけではなく、他の人たちも守りたいと考えながらリーダーをつとめました。今も帰り道を確認しながら歩いています。今までの苦労がどこかに飛んでいってしまいそうな最高の気分です。  
(吉田 有莉加さん)



危険にさらされている子どもたちの、自分自身のみならず「兄弟や家族を守るんだ」という強い思いに引っ張られてきました。マップを使って地域にどうアピールしていくのか、私たち大人の責任に身が引き締まる思いです。ありがとうございました。  
(棟方 仁先生)

テーマ：交通安全

評価されたところ

- ・郊外型大規模店舗とそれに隣接する新興住宅地で構成されている地域の特徴をふまえ、問題点を子どもたち自身が把握し、マップにまとめている。
- ・シンプルな構成であるが写真の構図がよく、内容がよく伝わってくる。



# 審査員特別賞

福島県相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ【かもめ防災探検隊】 3年生 9名



入選したと聞いた時、とてもびっくりしました。防災探検では「どこににげるのか?どこが安全なのか?」がわかってよかったです。みんなで行った探検やマップ作りはすごく楽しかったし、ためになりました。  
(荻野 千夏さん)



かもめクラブの先生も子どもたちも、初めての経験の中で作り上げたマップが特別賞に入選し、子どもはもちろんのこと先生方のほうが大興奮。これからも意欲的に取り組む力の基となるでしょう。本当にありがとうございました。  
(永井 清美さん)

テーマ：防災

評価されたところ

- ・テーマを津波にしぼったことで成功している作品。わかりやすく、提言もしっかりまとめられている。
- ・紙粘土で高い建物等を立体的に表現するなどビジュアル的な工夫も見られる。

いしのまき      いしのまき      せき しょう  
宮城県石巻市立石巻小学校【石小防災探検隊】 6年生 5名



今回、私たちが作った防災マップが全国のたくさんの応募の中から選ばれてとてもうれしく思います。マップを作る時には、苦労したこともたくさんありましたが、全部このメンバーだからこそできたと思います。この防災マップを地域でも役立てたいです。  
(西牧 奏さん)



5名の少ない人数で、手探りでスタートしました。子どもたちは「今、私たちがやらなければならない」という使命感や必要感を感じさせるほど熱心に取り組みました。今回の受賞はそんな子どもたちの大きな励みになりました。  
(須藤 雄一郎先生)

テーマ：防災

評価されたところ

- ・マップをつくる動機と経過、その結果わかったこと、感じたことを整理しており、見やすくわかりやすい。
- ・いつ起きるかわからない地震に備え、自分たちで調べたことを地域の人たちに知らせたいという気持ちがよく伝わってくる。

もり やまちょう      もり やまちょう  
石川県金沢市立森山町小学校【金沢市立森山町小学校4年1組】 4年生 9名



探検で発見したことがよく伝わるマップをめざして、みんなと協力して作りました。思いがたくさんつまった作品なので、特別賞をもらってうれしい気持ちでいっぱいです。このマップが多くの人役に立てたいと思います。  
(吉本 真由さん)



子どもたちは探検活動とマップ作りを通して何気なく通っている地域の中に命を守るしくみがあることに気づきました。そして、防災に関わる人々とふれあうことで、防災の意識を高めました。応援して下さった皆さま、ありがとうございました。  
(西澤 善子先生)

テーマ：防災

評価されたところ

- ・まちの人によく話を聞き、自分たちにできることを考えてマップに表現している。
- ・ビジュアルもしっかりしており、何より子どもたちが楽しみながらマップを作っていることが伝わってくる。





# 審査員特別賞

い だいら  
静岡県浜松市立伊平小学校【伊平安全パトロール隊】 4・5年生 7名



一昨年に続いて入選したのでうれしいです。今年はお年寄りや自転車に乗る人から見た危険箇所をマップにまとめました。これからは交通ルールを守って自転車に乗ったり、お年寄りに手を貸したりして、安全に生活したいです。  
(笹ヶ瀬 由莉さん)



マップ作りを通して「交通安全は自分から」という思いと共に、安全な町づくりに熱心に取り組んでくださる地域の方々への感謝の気持ちを高めた子どもたち。受賞を通して、より一層子どもたちの安全意識が高まることを期待しております。ありがとうございました。  
(山田 真代子先生)

テーマ：交通安全

評価されたところ

- ・まちの変化や、改善前と改善後の様子を写真で紹介しながら、わかりやすく工夫されている。
- ・地域への提言だけでなく、自分たちができることを考えているところも評価できる。



# 審査員特別賞

あい なん  
愛媛県愛南町立東海小学校【岩水防災キッズ】 5・6年生 8名



みんなでまちを歩いて、みんなで話し合って初めて作った防災マップが受賞してとてもうれしかったです。公民館長さんも喜んでいただきました。災害がおきたら、地域に配ったマップを使ってみんなで助け合いたいです。  
(岡山 桃子さん)



「地域みんなが使えるマップにしよう」と考え、協力しながら作ったマップが、入選という形で成果を上げたことが本当にうれしいです。この活動で、地域を知り、地域を大切に思う心を育てることができました。  
(梶田 美保先生)

テーマ：防災

評価されたところ

- ・高齢者に視点を置いて調べた作品。まち歩きをし、ひとり暮らしのお年寄りの声をひろい、マップにわかりやすくまとめている。
- ・町長に提言を伝え、回答を得ている。自分たちでできることを宣言している点も評価できる。

か み おじろ  
兵庫県香美町立小代小学校少年消防クラブ【小代っこぼうさい探検隊】 4年生 19名



やり始めたときは本当に完成できるのかと不安でした。でも、やってからどんどん楽しくなって、不安もだんだん消えていきました。最後にはみんなニコニコ笑いながらがんばって仕上げました。きれいにできてうれしかったです。  
(朝倉 当麻さん)



子どもたちは小代を知らない全国の仲間に、自分たちの意見や考えが伝わるようにとの思いで、何度も話し合い、創意工夫をしながらマップを仕上げました。審査員特別賞をいただき、子どもたちにとって大きな喜びと共に自信に繋がりました。ありがとうございました。  
(間端 真美先生)

テーマ：防災

評価されたところ

- ・竹を使った防災対策など、地域性がよく出ている。
- ・非常食が完備されていないことや、川のゴミが防災の妨げになることなど、子どもたちならではの視点・発想がうかがえる。

しまんと おきつ  
高知県四万十町立興津小学校【オキトラ】 6年生 8名



ぼくたちが作成した防災マップが審査員特別賞に入選して、とてもうれしかったです。二年連続の受賞なので、びっくりしました。興津地域が、昨年よりも今年の方が災害に強い町になっていることがよくわかるように作成したマップを評価してくれたのでよかったです。  
(佐藤 大悟さん)



同じ地域の防災マップをどんな形で昨年度と違う表し方をするか、とても悩みました。防災に強くなる町づくりを児童とともに表現するよう取り組んでみました。それを評価してくれたことをうれしく思います。  
(近森 幹夫先生)

テーマ：防災

評価されたところ

- ・行政にヒアリングし、提言を行っている。
- ・昨年度からの改善点、変化を写真で表現するなど、これまでとの比較と同時に、新たな危険箇所も指摘している。
- ・住民が見ればすぐにわかる実用性の高いマップとなっている。



# 応募数

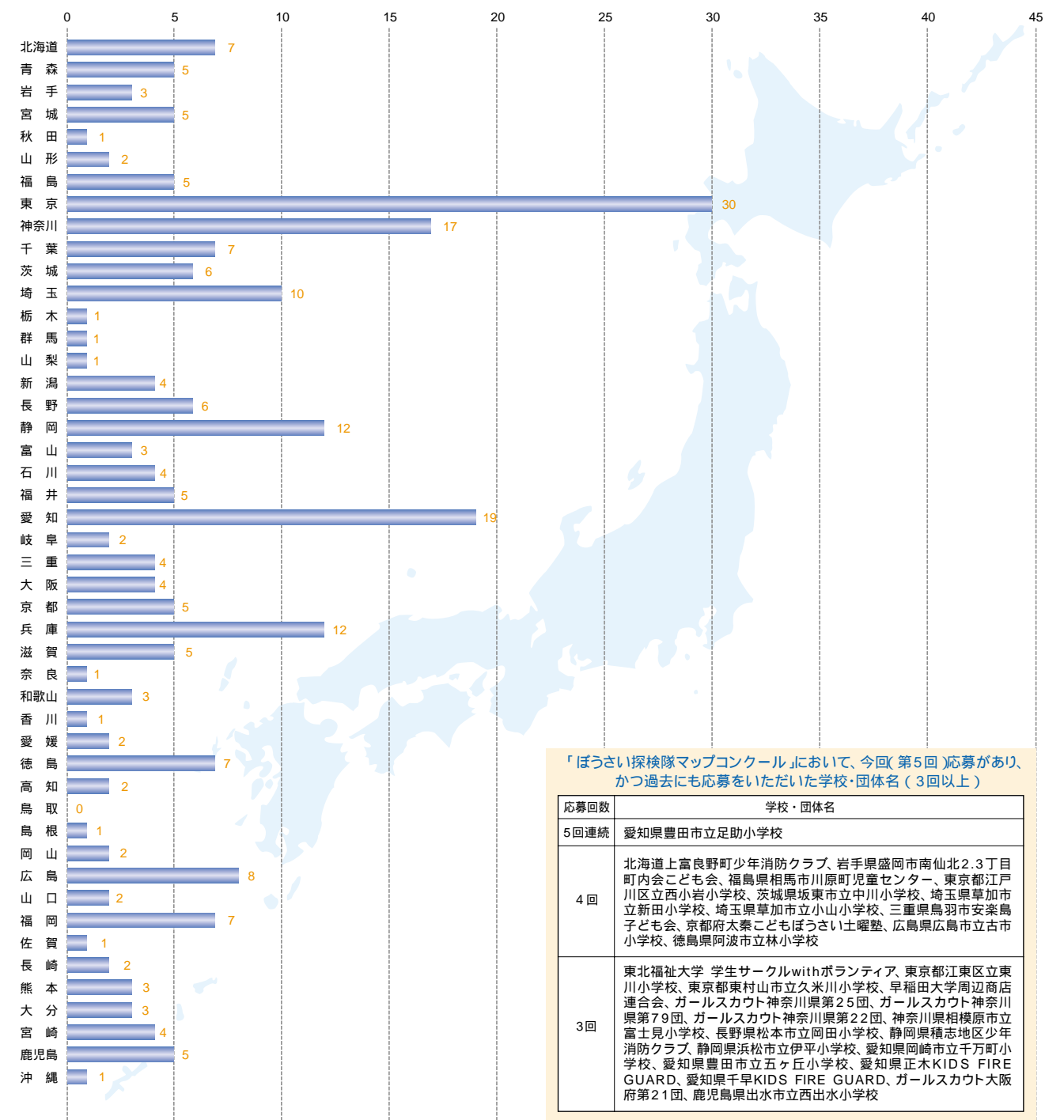
第5回「ぼうさい探検隊マップコンクール」には、全国から241校・団体(小学校143、団体98)、1,235作品の応募がありました。 前回の応募数は、257校・団体(小学校159、団体98)、1374作品

## 応募一覧

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
北海道	7	40	札幌市立美音保小学校、室蘭市立絵鞆小学校、札幌市立桑園小学校、上富良野町少年消防クラブ、すきっぷ帯小夢教室、斜里町峰浜小学校、オロムシチャレンジキッズ
青森	5	16	青森市立沖館小学校、平川市立平賀東小学校、平川市立小森小学校、平川市立碓ヶ関小学校、平川市立猿賀小学校
岩手	3	7	八幡平市立松野小学校、富沢少年消防クラブ、南仙北2.3丁目町内会子ども会
宮城	5	12	本吉町立大谷小学校、石巻市立石巻小学校、利府町立しらかし小学校、利府町立しらかし台防犯協会、学びのコミュニティながまち、東北福祉大学 学生サークルwithボランティア
秋田	1	8	五城目町立五城目小学校
山形	2	3	ボーイスカウト山形第43団カブスカウト隊ビーバースカウト隊、山形市立みはらの丘小学校
福島	5	13	相馬市川原町児童センター、相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ、ガールスカウト福島第34団、ガールスカウト福島第5団、郡山市立安積第三小学校
東京	30	256	江戸川区立第六葛西小学校、江東区立東川小学校、調布市立調布第一小学校、板橋消防少年団、日本橋消防少年団、足立区立伊興小学校、港区立白金小学校、大田区立入新井第二小学校、台東区立寿児童館、練馬区立立野小学校、江戸川区立第四葛西小学校、文京区立柳町小学校、矢口消防少年団、葛飾区立半田小学校、立川市立南砂小学校、千代田区立麹町小学校一番町児童館ワーク・わく・クラブ、早稲田大学周辺商店連合会、葛飾区立本田小学校、東村山市立久米川小学校、大田区立洗足池小学校、江戸川区立西小若小学校、日の出町立本宿小学校、西東京市立泉小学校、ボーイスカウト墨田第9団カブ隊、文京区立指ヶ谷小学校、目黒区立八雲小学校、練馬区立大泉第六小学校、豊島区立西巣鴨小学校、葛飾区立青戸小学校、東久留米市立第八小学校
神奈川	17	123	横浜市立大正小学校、ボーイスカウト横浜第132団カブスカウト隊、ボーイスカウト川崎第53団カブスカウト隊、厚木市立清水小学校、保土ヶ谷区岩井町地区青少年指導員連絡協議会、森っ子ひろば(森の里地区地域子ども教室)、ガールスカウト神奈川第22団、ガールスカウト神奈川第37団、川崎市立長尾小学校、茅ヶ崎市立浜之郷小学校、ガールスカウト神奈川第25団、鎌倉市立西鎌倉小学校、茅ヶ崎市立浜須賀小学校、ガールスカウト神奈川第79団、相模原市立富士見小学校、横浜市立戸部小学校、横浜市立鶴見小学校
千葉	7	67	ほたる子ども会、市原市立若葉小学校、第二小学校区地区社会福祉協議会富塚・折立子ども会、船橋市立習志野台第一小学校、千葉市立美浜打瀬小学校、鎌子市立飯沼小学校、我孫子市立湖北台東小学校
茨城	6	26	土浦市立穴塚小学校、坂東市立中川小学校、笠間市社会福祉協議会穴戸支部こぶしの会、利根町立文小学校、ガールスカウト茨城県第39団、結城市立上山川小学校
埼玉	10	81	ガールスカウト埼玉第59団、ガールスカウト埼玉第55団、ボーイスカウト草加第7団、風渡野第二地区わしやま子ども会、川越市立川越小学校、さいたま市立大砂土東小学校 PTAお父さんの会、草加市立小山小学校、草加市立新田小学校、ふじみ野市立亀久保小学校、新座市立石神小学校
栃木	1	2	ボーイスカウト鹿沼第4団
群馬	1	1	ボーイスカウト大泉第5団カブ隊
山梨	1	1	ボーイスカウト富士吉田第1団ビーバー隊
新潟	4	26	柏崎市立石地小学校、ボーイスカウト加茂第1団、新潟市立葛塚小学校、新潟市立豊栄南小学校
長野	6	17	松本市立岡田小学校、ガールスカウト長野第34団、信州大学附属松本小学校、佐久市立岩村田小学校、安曇野市立豊科東小学校、松本市立菅野小学校
静岡	12	84	静岡市立森下小学校、三島市立北上小学校、焼津市消防防災局少年消防クラブ、三方原南地区少年消防クラブ、浜松市立藤原小学校、精志地区少年消防クラブ、豊原地区少年消防クラブ、ガールスカウト静岡県第34団、浜松市立久留木小学校、焼津市立大井川東小学校、浜松市立平山小学校、浜松市立伊平小学校
富山	3	37	富山市立呉羽小学校、高岡市立二塚小学校、ボーイスカウト富山第16団カブ隊

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
石川	4	7	元菊町本町会子ども会、ガールスカウト石川県第5団、加賀市立湖北小学校、金沢市立森山小学校
福井	5	6	あわら市金津東小学校、あわら市新郷小学校、越前町立城崎小学校、上里大学子供会、明進地区キッズ探検隊
愛知	19	61	岡崎市立千町小学校、蒲郡市立蒲郡西部小学校、三好町立中部小学校、飛鳥村子ども連絡協議会、御園学区KIDS FIRE GUARD、正木KIDS FIRE GUARD、橋KIDS FIRE GUARD、千早KIDS FIRE GUARD、さんごう子ども会、ガールスカウト愛知県第115団、高浜市立高浜小学校、豊橋市立野依小学校、小坂井町子ども会、栄KIDS FIRE GUARD、豊田市立五ヶ丘小学校、豊橋市立二川南小学校、豊田市立久久平小学校、安城さるびあ探検隊、豊田市立足助小学校
岐阜	2	2	学童もみの木クラブ、岐阜市立鏡島小学校ひまわり学級
三重	4	35	いなべ市立員弁東小学校、松阪市立第三小学校、津市立南立誠小学校、安楽島子ども会
大阪	4	20	堺市立浜寺小学校、堺市立五箇荘小学校、ガールスカウト大阪府第21団、茨木市立忍頂寺小学校
京都	5	16	YAMADA KIDS 5、大森こども防災土曜塾、京都市左京少年消防クラブ、舞鶴市立余内小学校、京都市立椋原小学校
兵庫	12	41	伊丹市立人権啓発センター児童館スマイルクラブ、香美町立小代小学校少年消防クラブ、神戸市立長田南小学校、高木子ども会、たつの市立小宅小学校、白川台子ども会、まちの子育て広場やまほし村のこどもたち、淡路市立立波小学校、神戸市立竹の台小学校、ガールスカウト兵庫県第16団、学童保育伊勢ノ森スクール、安井地区子ども会連合会
滋賀	5	8	月輪自治会子ども会、ふけ町ふるさとクラブ、大津市南郷小学校区チェリーファイターズ、三上学童保育所、長浜市立長浜北小学校
奈良	1	1	桜ヶ丘小学校区こどもしま子ども会
和歌山	3	4	田辺市立新庄第二小学校、和歌山市立本町小学校、橋本市立橋本小学校自然体験クラブ
香川	1	8	丸亀市立城辰小学校
愛媛	2	17	愛南町立東海小学校、西条市立丹原小学校
徳島	7	19	阿波市立久勝小学校、三好市立川崎小学校、那賀町立木沢小学校、徳島市立富田小学校、三好市立佐野小学校、藍住町立藍住西小学校、阿波市立林小学校
高知	2	2	四万十町立興津小学校、土佐清水市立窪津小学校
鳥根	1	4	大田市立温泉津小学校
岡山	2	8	備前市立神根小学校、美作市立美作北小学校
広島	8	54	北広島町立雄鹿原小学校、尾道市立南小学校、広島市立古市小学校、広島市立伴小学校、廿日市市立大野東小学校区1区B子ども会、府中町少年少女消防クラブ、三原市立神田小学校、廿日市市立大野東小学校PTA生活部4区D
山口	2	7	萩市立育英小学校、宇部市立船木小学校
福岡	7	17	北九州市立ひびきが丘小学校、みやま市立開小学校、住吉校区こども会育成会、ボーイスカウト北九州第37団カブ隊、萩っ子探検隊、ボーイスカウト北九州第1団カブ隊、北九州市立穴生小学校
佐賀	1	4	東山代少年陸上少年消防クラブ
長崎	2	4	平戸市社会福祉協議会田平地区ボランティア市民活動センター、南島原市立深江小学校
熊本	3	16	熊本市立白山小学校、熊本市立武蔵小学校、南小国町立りんどうヶ丘小学校
大分	3	3	光の園子どもクラブ、上浦放課後児童クラブ、照波園地区子どもクラブ
宮崎	4	18	ゆりかご福祉会ゆりかご児童館ゆりかご児童クラブ、延岡市立東海東小学校、延岡市立延岡小学校、ゆりかご福祉会ゆりかごこども園保育園児童クラブ
鹿児島	5	32	知名町立下平川小学校、出水市立西出水小学校、出水市立高尾野小学校、ガールスカウト鹿児島県第11団、南大隅町立大泊小学校
沖縄	1	1	粟国村立粟国小学校

## 都道府県別の応募分布



「ぼうさい探検隊マップコンクール」において、今回(第5回)応募があり、かつ過去にも応募をいただいた学校・団体名(3回以上)

応募回数	学校・団体名
5回連続	愛知県豊田市立足助小学校
4回	北海道立上富良野町少年消防クラブ、岩手県盛岡市南仙北2.3丁目町内会子ども会、福島県相馬市川原町児童センター、東京都江戸川区立西小若小学校、茨城県東市立中川小学校、埼玉県草加市立新田小学校、埼玉県草加市立小山小学校、三重県鳥羽市安楽島子ども会、京都府太秦こどもぼうさい土曜塾、広島県広島市立古市小学校、徳島県阿波市立林小学校
3回	東北福祉大学 学生サークルwithボランティア、東京都江東区立東川小学校、東京都東村山市立久米川小学校、早稲田大学周辺商店連合会、ガールスカウト神奈川第25団、ガールスカウト神奈川第79団、ガールスカウト神奈川第22団、神奈川相模原市立富士見小学校、長野県松本市立岡田小学校、静岡県積志地区少年消防クラブ、静岡県浜松市立伊平小学校、愛知県岡崎市立千町小学校、愛知県豊田市立五ヶ丘小学校、愛知県正木KIDS FIRE GUARD、愛知県千早KIDS FIRE GUARD、ガールスカウト大阪府第21団、鹿児島県出水市立西出水小学校

**万一のときのために 損害保険**

火災や事故にあわない、あってもその被害を小さくするための防災の知識を持ち、日ごろから準備をしておくことが大切です。

しかし、万一災害などで自分の住宅などに被害が生じた場合、修理費などが発生します。こうした事故への備えとして損害保険の知識をもち、必要な保険契約をしておくことは、自分や家族の生活を守る大切な備えとなります。